

新

春

を



津島市長
日比 一昭

あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のなか、新型コロナウイルス感染症対策と、経済活動を回復軌道に乗せる取組を実施してまいりました。本市における新型コロナワクチン接種は順調に進み、3回目の新型コロナワクチン接種も

始まりました。ご協力をいただいております医療従事者の皆様に感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症対策事業（第5弾から9弾まで）としまして、小中学校に整備した1人1台タブレット活用促進のためのICT環境整備、主要な避難所のフリーWi-Fi設置、名古屋鉄道とのタイアップ事業「つしまちあるきキャンペーン」、プレミアム付商品券事業、スマホアプリを活用した健康づくり「笑顔で健幸」大作戦事業などのほか、国制度に関する事業とあわせて合計39事業を実施いたしました。今後も、引き続き感染

防止と経済対策の両立に取り組んでまいります。

市民の皆様にお約束申し上げた「つしま成長戦略第2弾」に掲げた5つの取組を着実に進めると同時に、昨年新たにスタートした都市計画マスタープランにおいて、今後10年先の津島市を見据え、将来に向けたまちづくり戦略を定めています。

津島駅周辺を本市の正面玄関と位置づけ、市内の東西南北それぞれに玄関口を位置づける「玄関構想」によるまちの再構築を進め、名鉄津島駅を「都市核」、津島神社を「歴史核」、天王川公園を「自然核」と位置付け、歴史的文化資産を活かしたまちと駅が連携した魅力ある「都市の拠点」を創出してまいります。

また、昨年、デジタル庁が設置され、国を挙げてデジタル化が推進されております。本市においても昨年4月から総務デジタル課を設置し、民間からデジタル推進アドバイザーを迎え、積極的にデジタル化を推進しております。引き続き行政手続きのデジタル化・オンライン化を進め、市民の皆様の利便性向上に努めてまいります。

市民の皆様が「住んでみたい」「住んでよかった」と思っただけのよう、「しあわせ実感都市、つしま」を目指して全力で取り組んでまいります。

本年が、市民の皆様にとりまして、幸せな一年となりますことをお祈り申し上げます。



愛知県知事
大村 秀章

あけましておめでとうございます。

昨年は、オール愛知で一丸となって、新型コロナウイルス感染症の「克服」に向けた取組を進めるとともに、ジブリパークの整備推進、愛知県新体育館、スタートアップ支援拠点「STATION Ai」の整備着手など、感染症克服後を見据え、愛知を「前進」させた1年となりました。

世界は、グローバル化の進展やそれに伴う感染症リスクの増大、デジタル技術の急速な発展など、加速度的な変化を遂げています。今後も、愛知が日本の成長エンジンとして、我が国の発展をリードしていくためには、変化に的確に対応し、イノベーションを巻き起こしていかなければなりません。

今年も、国内外の優れたスタートアップと地域のモノづくり企業とのオープンイノベーションにより、イノベー

ションが次々と創出される、愛知独自のスタートアップ・エコシステムの形成を促進し、海外先進地域との連携を深め、世界に例を見ないグローバルなイノベーション創出拠点の形成を目指します。

また、リニア開業を見据えた社会基盤整備、農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療・福祉、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向上にも取り組んでまいります。

今年7月には、国際芸術祭「あいち2022」を開催します。秋には、ジブリパークの「青春の丘エリア」「ジブリの大倉庫エリア」「どんどこ森エリア」が開業します。愛知の魅力を高める取組も着実に進めてまいります。

愛知県は今年、1872(明治5)年の誕生から150周年を迎えます。県民の皆様は、将来も愛知県に住み続けたいと思っただけのよう、全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

迎

え

て



津島市議会議長
加藤 則之

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

旧年中は、市政並びに市議会の活動に対しまして、皆様の温かいご理解と力強いご支援により、円滑な議事運営ができましたことに、心より感謝し、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年はコロナ禍の中、最大限の対策を講じて、東京オリンピック、パラリンピックが開催されました。市民の皆様も、コロナ禍で多くの娯楽が制限されたこともあり、テレビの前で観戦し、興奮や感動を得たのではないのでしょうか。

そして、今年の夏以降は、新型コロナウイルスワクチン接種が進み、徐々にではありますが、様々な制限が解除されたり、緩められたりしてきました。これからはウィズコロナで生活をしていく世の中になっていきます。少しでも

早く、市民の皆様が以前のように、多世代で交流ができる活力あるまちに戻ることを願っております。また、そうなるように、市議会としても、役割を果たしてまいります。

今後は、デジタル化が進んでまいります。市議会としても議会改革の一環としてデジタル化に対応していくため、プロジェクトチームを組織し、検討しているところであります。

また、人口減少など多くの厳しい課題が山積しておりますが、一つ一つ丁寧に取り組んでいく必要があります。

こうした中、市議会は、多様な市民の皆様の見解を市政に届けるとともに、議決機関としての役割を十分に発揮して、市民の皆様の福祉の向上と市政の発展に寄与していく所存であります。

どうか今年も市議会に対し、さらなるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、今年一年の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます、新年のあいさつといたします。



愛知県議会議員
中野 治美

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

改めて振り返れば、昨年も新型コロナウイルス感染症との闘いに終始した1年でした。様々な制限の中感染拡大防止に協力をされているすべての皆様、医療や福祉の分野で懸命な努力を続けておられる

皆様への思いを巡らせ、深く敬意を表します。

愛知県議会でも、感染拡大の防止と社会経済活動の両立や、皆様の命と健康を守り、安心して暮らせる日常生活を守るため、感染症対策に全力で取り組んだ1年でした。そのような中、感染拡大を抑えるため、ワクチンの安定供給を国に強く要望し、市町村や医療機関等と連携し総力をあげて進めてまいりました。

昨年夏開催された東京オリンピック、パラリンピックでのアスリートたちの姿は、私たちに元気と感動を届けてくれました。愛

知県・名古屋市では、2026年のアジア競技大会開催に向けて準備を進めています。スポーツ界の大きな目標となるとともに、コロナ禍を乗り越えた先のアジアとの交流を深める機会として、また、身近なアジアを感じられる機会としても期待されます。

警察署や交番は、皆様の安心・安全な暮らしを守るための地域防犯の要です。これまでに神守交番、天王交番の建て替えを完了しました。愛宕交番は、昨年5月より建て替えを進めており現在閉鎖中ですが、今年の2月に完成予定です。そして、かねてより建て替えを進めております津島警察署庁舎は、今年の夏に完成する予定です。

また、日光川流域の防災の要として老朽化した日光川水閘門を改築し、日光川排水機場・日光川河口排水機場のポンプも排水能力を高める整備を進めてまいりました。さらに、近年の激甚化する気候に対応するため、日光川河口に新たに排水機場の増設を図ることを国に要望しております。皆様が安心・安全に暮らせる日常のために、一層努めてまいります。

今年、寅年です。寅年は「成長」や「始まり」の年と言われます。皆様のご健康とご多幸をお祈りいたしますとともに、新しい芽が「成長」し、新しい日常が「始まる」良き年でありますよう心よりお祈り申し上げます。